

平成25年6月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

袋井市議会

**＝本会議インターネット放映のお知らせ＝**

本会議の様子が、自宅のパソコンで見ることができます。

袋井市のホームページに接続し、袋井市議会のコンテンツの中に「袋井市議会のインターネット中継」があります。ホームページアドレスは、次のとおりです。

袋井市 <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp>

袋井市議会（インターネット中継）

<http://dvlsv.city.fukuroi.shizuoka.jp/view/2.html>

●傍聴者の皆様へ：携帯電話はマナーモードに切り替えをお願いします。

## 一般質問通告議員

6月10日(月)

### 【午前質問予定の議員】

質問順序	質問形式		ページ
1番	一問一答	高橋美博議員	1
2番	一括	伊藤謙一議員	2
3番	一問一答	廣岡英一議員	3

### 【午後質問予定の議員】

4番	一括	大庭通嘉議員	5
5番	一括	戸塚哲夫議員	6
6番	一括	大石重樹議員	7

6月11日(火)

### 【午前質問予定の議員】

7番	一括	岡本幹男議員	9
8番	一問一答	寺田守議員	10
9番	一括	鈴木弘睦議員	11

### 【午後質問予定の議員】

10番	一括	山田貴子議員	12
-----	----	--------	----

質問順序	1	議席番号	1 2	質問者	高橋美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<b>国民健康保険税、介護保険料について</b>  市長の公約に、「負担軽減に努める」とある。具体的施策について伺う。 (1) 「国保は社会保障の一環」との認識はあるか。 (2) 袋井市の国保の税額は県下でも上位となっているが、その要因をどうとらえているか。 (3) 一般会計からの繰り入れを増やす考えはないか。 (4) 国保税を引き下げるべきではないか。 (5) 「国保広域化」についての考えと取り組み状況はどうか。 (6) 介護保険料負担軽減の方策はどうか。				
<b>2</b>	<b>市の企業立地優遇制度について</b>  袋井市が設けている企業立地優遇制度の施策目的が達成しているか検証が必要と考える。これまでの実績とそれによる効果を伺う。 (1) 産業立地事業費補助金の交付件数と補助金の合計、新規雇用増加数はどうか。 (2) 工場立地奨励補助金の交付件数と、補助金の合計はどうか。 (3) 企業立地による製品出荷額の増加額と固定資産増加額、固定資産税など税金の増加額はどうか。 (4) 補助金返還の事例とその根拠となる規定はあるか。				
<b>3</b>	<b>風しん流行への対応について</b>  全国的に風しん流行の兆しがある。本市の対応について伺う。 (1) 市内の罹患の報告はあるか。 (2) 感染を予防するための広報、働きかけはどのようにしているか。 (3) 感染予防するワクチン接種の状況、接種への助成の考えはあるか。				

質問順序	2	議席番号	4	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
1	<p><b>国際交流について</b></p> <p>近年ますます急速なグローバル化が進み、ニュースでも国の外交姿勢が大きく取り上げられている。広い視野を持つ人材育成や外貨獲得を目的とした産業面で諸外国との交流は不可欠だと考える。そこで本市の今後の動向を伺いたい。</p> <p>(1) 本市は現状様々な国と交流を行っているが、総括的な国際交流の目的は。また、課題は。</p> <p>(2) 本市の国際交流のメイン事業の一つである、ヒルズボロへの留学ミッションだが、学生たちの海外への関心がそこで終わってしまわないために、何か市でその後の対応をしているか。そして、そのような経験を持つ学生が、就職活動において市外に流出しない取り組みを行っているか。</p> <p>(3) 本年度、富士山の世界遺産登録がほぼ内定し、外国人観光者の獲得に期待ができる。それに伴い、本市は今後いかに観光事業に取り組んでいかれるか。</p>				
2	<p><b>企業誘致について</b></p> <p>若者の雇用確保、市の財源強化、また市内の経済の活性化のために企業誘致は必要だと考えるがどうか。</p> <p>(1) 現在、海外に進出を考える企業が中国からその他の国へと進出先が変わってきた。円安もあり、外国企業や流出した日本企業をもう一度国内に呼び戻すチャンスだと考えるが、そういった企業に対して誘致活動を行う予定はあるか。</p> <p>(2) 企業が市外に流出してしまう事例もあると思いますが、市内の企業に対して新しい工業団地に誘致する等の具体的な取り組みはございますか。</p>				
3	<p><b>教育について</b></p> <p>高齢化が進む社会において、子どもの数が増加傾向にある事は本市にとって非常に財産である。しかし、今後キャパシティを上回る増加が起き、教育環境の質が低下する恐れがあることを認識することが必須である。</p> <p>(1) 人口増加の著しい小中学校において、今後の人口増加を見据えた市の考え方を伺いたい。</p> <p>(2) 近年、インターネットを通して子どもたちのいじめや職員等の不祥事が明らかになる事が多い。何らかの対策等は考えられているか。</p>				

質問順序	3	議席番号	14	質問者	廣岡英一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
1	<p><b>1 巨大地震対策</b></p> <p>東日本大震災の教訓を踏まえた「南海トラフ巨大地震」が想定されて以来、内閣府は津波高・浸水域、被害想定を発表してきた。去る5月28日には避難者数は最大950万人などの最終報告が発表され、東海地震の予知は困難との見解も示された。いずれも危機感を増長する発表であり、本市は懸命に防災対策を進めているものの、浅羽南地区住民には不安が募っている。そこで、巨大地震対策を図る各種計画への考え方を伺う。</p> <p>(1) 作成中の地域防災計画、津波被害軽減対策アクションプランの修正について</p> <p>ア 県の第4次地震被害想定は6月に示されるか。</p> <p>イ 作成中の計画への大きな修正点や課題になることは。</p> <p>ウ 最終の作成時期、市民への周知方法は。</p> <p>エ 原子力災害対策編は防災対策と言えるのかどうか。</p> <p>(2) 「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく推進計画の作成について</p> <p>ア 作成のための協議体制は。</p> <p>イ 作成手順と時期は。</p> <p>ウ 同法における計画作成上の課題、計画をつくることへの意義は。</p> <p>(3) 県の「内陸のフロンティアを拓く総合特区」への取り組みについて</p> <p>ア 本市南部への取り組みと県の沿岸・都市部のリノベーション戦略とに違いを抱くが、本市の政策背景、県の戦略との相関性は。</p> <p>イ 春協議の内容、秋協議の主要項目は。</p> <p>ウ 協議体制、計画作成の時期、事業化の時期は。</p> <p>(4) 浅羽南地区の不安解消対策について</p> <p>ア 財産を守るための海岸防潮堤の強化、河川堤防のかさ上げへの対策、考えは。</p> <p>イ 固定資産評価に課題はないか。減額措置の特例ができないか。</p>				
2	<p><b>2 健康文化都市</b></p> <p>総合計画に掲げられている本市の将来像は「健康文化都市」であり、旧袋井市から数えれば19年余にわたるテーマになっている。合併から8年が過ぎ、総合計画も2年後が最終年になる。新市建設が仕上げ段階に入った今、改めて健康文化のまちづくりを伺う。</p> <p>(1) 8年間の健康文化のまちづくり</p> <p>ア 達成したこと、今後達成すべきこと。</p> <p>イ 健康文化のまちづくりは、何を大切にすべきか。</p> <p>(2) CI戦略が必要ではないか。</p> <p>ア CI戦略、あるいはブランド戦略を進めるべきでは。</p> <p>(3) 「市民の力」を栄養に、「袋井らしさを」創造していくことが、健康文化都市をつくるのではないか。</p>				

質問順序	3	議席番号	14	質問者	廣岡英一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
	<p>(4) 浅羽南地区の不安解消対策について</p> <p>ア 財産を守るための海岸防潮堤の強化、河川堤防のかさ上げへの対策、考えは。</p> <p>イ 固定資産評価に課題はないか。減額措置の特例ができないか。</p>				
<b>2</b>	<p><b>健康文化都市</b></p> <p>総合計画に掲げられている本市の将来像は「健康文化都市」であり、旧袋井市から数えれば19年余にわたるテーマになっている。合併から8年が過ぎ、総合計画も2年後が最終年になる。新市建設が仕上げ段階に入った今、改めて健康文化のまちづくりを伺う。</p> <p>(1) 8年間の健康文化のまちづくり</p> <p>ア 達成したこと、今後達成すべきこと。</p> <p>イ 健康文化のまちづくりは、何を大切にすべきか。</p> <p>(2) CI戦略が必要ではないか。</p> <p>ア CI戦略、あるいはブランド戦略を進めるべきでは。</p> <p>(3) 「市民の力」を栄養に、「袋井らしさを」創造していくことが、健康文化都市をつくるのではないか。</p>				

質問順序	4	議席番号	19	質問者	大庭通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<b>政治姿勢について</b> <p>(1) 先の選挙戦において市長が市民に公約（マニフェスト）した各種事業の実現見通しと実施方策を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 中央図書館建設と施設内こども未来館建設</li> <li>イ 海岸防潮堤と太田川・弁財天川の堤防かさ上げ、同報無線戸別受信機の全戸設置</li> <li>ウ 産業振興と雇用の創出</li> <li>エ 内陸フロンティアを活用した6次産業の推進</li> <li>オ 高校野球の公式戦ができる野球場の建設</li> <li>カ クラウンメロンマラソンのシティマラソンへの格上げ</li> </ul> <p>(2) 向こう4年間の市政のかじ取りの基本的考え方は。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 市長の新市3期目の市政に対する基本方針は。</li> <li>イ 4年間の具体的スケジュール組み立てについて</li> <li>ウ 各種事業費算定に基づいた今後の財政計画は。</li> </ul>				
<b>2</b>	<b>合併の総括について</b> <p>浅羽・袋井の合併から10年目を迎えようとしている。これまでの具体的な総括を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 合併特例債の総括について</li> <li>(2) 理論算入されている交付税等の実質交付額は。</li> <li>(3) 合併支援すべての総額はいくらか。</li> <li>(4) 新市建設計画に掲げた事業計画の総括</li> <li>(5) 浅羽地区地域審議会の総括と今後の考え方</li> </ul>				
<b>3</b>	<b>文化振興について</b> <p>歴史文化の掘り起こしと歴史文化館のさらなる充実に向け、どのように振興を図っていくか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 歴史文化館等所期の計画に対する実績の評価は。</li> <li>(2) 古文書や公文書管理の具体的整理状況は。</li> <li>(3) 市史編さんと文化財保護審議会の充実に向けた取り組み</li> <li>(4) 地域郷土誌作成支援と建白書の評価</li> <li>(5) 文化財整理計画と計画的推進のあり方</li> </ul>				
<b>4</b>	<b>治水対策について</b> <p>4月6日の豪雨による災害を生かした治水対策を。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 豪雨被害を生かした今後の市全体の治水対策は。</li> <li>(2) 松橋川内水排除（川井西ポンプ）の再検討を。</li> </ul>				

質問順序	5	議席番号	1	質問者	戸塚哲夫
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<b>袋井市南部地区の主要道路整備について</b> <p>近隣市との通行を円滑にする広域的な主要幹線道路などの整備の遅れが、地域の課題となっている。これまでの取組状況と今後の対応についてお伺いします。</p> <p>(1) 国道150号バイパスルートの決定と早期事業化は喫緊の課題。これまでの取組状況と今後の対応についてお伺いしたい。</p> <p>(2) 県道磐田掛川線・中地内改良事業の今後の事業計画はどのようになっているか。</p> <p>(3) 県道中野諸井線・富里中地内の改良について、今後市としては、どのように地元との話し合いを進めていくのか。</p> <p>(4) 都市計画道路諸井山の手線の整備に引き続き、都市計画道路浅名五十岡線を事業化すべきと考えるが、検討されているのか伺う。</p>				
<b>2</b>	<b>木造住宅の耐震診断、耐震補強事業の取り組みについて</b> <p>内閣府から、東海地震を現在の手法で予知するのは難しいとの報告が発表された。このことによりこの事業に取り組む市民が増えると期待している。</p> <p>(1) 耐震対策の済んでいない約5,000戸の住宅の市内分布はどのようになっているか。</p> <p>(2) 海拔5m以下で津波の被害が心配される地区を、最優先にすべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 耐震工事未実施の住宅の戸別訪問の具体的なスケジュールとの進め方はどうなっているか。</p> <p>(4) 耐震診断事業の推進にGIS（地図情報システム）機能を活用したらどうか。</p>				
<b>3</b>	<b>空き温室対策について</b> <p>市内のところどころに作付されていないメロン温室を見かけます。日本一のクローンメロンが生産された温室が空き温室になっていることは残念でならない。この状況をどのように思い、今後対策をどのように進めていくのか。</p> <p>(1) 現在市内に空き温室は、何棟ありますか。</p> <p>(2) メロンに代わる作物を導入した事例はありますか。</p> <p>(3) この空き温室の対策を、今後、具体的にどのように進めていくのか伺います。</p>				



質問順序	6	議席番号	3	質問者	大石重樹
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<p><b>中東遠総合医療センター開院とアクセスについて</b></p> <p>救急時や災害時等あらゆる医療環境に対応した、地域医療の核となる中東遠基幹病院が開院し、大変心強く思っております。市民が待ち望んだ新病院についてお聞きします。</p> <p>(1) 袋井市・掛川市、中東遠地域住民の、開院1カ月を経た利用状況について、また経営予測に対し、現況をどのように分析し、判断なされておられるかお伺いしたい。</p> <p>(2) 袋井消防署が担当する救急活動について、新病院が開院してから搬送・受け入れが、どれくらい迅速に対応できるようになっているか。また活動状況についてもお教えいただきたい。</p> <p>(3) 自主運行バスと路線バスについて、開院1カ月間の運行及び利用状況はどうか、お教えいただきたい。</p>				
<b>2</b>	<p><b>海岸浸食対策・養浜事業について</b></p> <p>県のサンドバイパス事業は、海岸浸食対策だけでなく、津波対策としても大変重要であると考えますが、総合試運転は停止したままであります。</p> <p>(1) 停止理由となった部品トラブルの原因究明と対策について、明確にお教えいただきたい。</p> <p>(2) 県からは、9月に改めて総合試運転をする旨、連絡が来ていると2月議会で答弁されておりますが、具体的な方針と日程について、市は既に聞いているかお教えいただきたい。</p> <p>(3) 太郎助前海岸は、台風の度に防潮堤直前まで洗掘され、その都度補修していただいておりますが、浸食と補修の繰り返しの、地区住民は不安を募らせております。抜本的な対策をどのようにお取りいただけるか、お考えをお伺いしたい。</p>				
<b>3</b>	<p><b>浅羽支所及び周辺施設について</b></p> <p>袋井市南部核として、浅羽支所を中心に各施設が完成し、地域振興・活性化の拠点として重要な役割を担い、地域住民も期待と想いが強い諸施設として利活用させていただいております。加えまして、南海トラフ巨大地震・津波などの大災害が懸念される中、施設の機能はますます重要度を増しています。</p> <p>(1) 浅羽支所につきまして、その重要性に鑑み、今後の存続についてのお考えをお伺いいたします。</p> <p>(2) 重要な施設である支所・保健センター施設の長寿命化対策を、どのように行う計画・手順をお持ちかお伺いしたい。</p>				

質問順序	6	議席番号	3	質問者	大石重樹
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
	<p>(3) 高齢化時代に向けて、市民サービスの向上には支所機能は大変有効であると実感しますが、発展している山梨地区また愛野地区に支所あるいは同様の機能を持つ出張所的なものを設けるお考えをお持ちか伺いたします。</p> <p>(4) 市民の皆様が利用している歴史文化館及び近藤記念館・郷土資料館などの来館者は、目標に対してどのような利用実績になっているかお教えいただきたい。</p>				

質問順序	7	議席番号	2	質問者	岡本幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
1	<p><b>防潮堤強化への取り組みについて</b></p> <p>袋井市南部地区の住民にとって、防潮堤の強化及びかさ上げによる地域の安全確保が喫緊の課題となっている。事業主体が県となる事業であっても、地域住民は袋井市から要望をして欲しいと考えている。今後の具体的な方向付けについて伺う。</p> <p>(1) 該当の磐田市、掛川市、御前崎市との連携を具体的に進めていくべきではないか。</p> <p>(2) 遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会は、本件についての受入母体となり得るか。</p> <p>(3) 対策後の防潮堤の形態についても、公園や自動車道路との複合施設にする等、内容について該当市と連携し要望を具体化すべきではないか。</p>				
2	<p><b>津波一時避難施設整備について</b></p> <p>津波一時避難施設については、避難訓練の経験等から地域住民の要望がより具体的になってきている。</p> <p>(1) 中新田命山と湊西命山の計画の進捗状況について具体的に聞きたい。</p> <p>(2) その他の箇所について、公共施設の津波一時避難施設としての活用の検討、及び民間との契約施設の交渉は継続させているか聞きたい。</p>				
3	<p><b>通学路の安全対策について</b></p> <p>平成24年9月に立案した通学路の安全対策は小学校を主な対象としたものであったが、その後、具体的に安全策を実施しているか進捗状況を聞きたい。さらに、その後、中学校の通学路の合同点検が行われたが、該当箇所以外にも今後調査を実施する方針か。私の視点では、浅羽中学の自転車通学路で新堀の給食センター周辺は今の時期に背丈の高い草が茂り危険だが対策はとれているか。</p>				

質問順序	8	議席番号	6	質問者	寺田 守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
1	<p><b>最低制限価格制度の採用</b></p> <p>今年度4月より市が発注する建設事業の入札について最低制限価格制度を採用することになった。採用の目的、今後の他事業への展開について伺う。</p> <p>(1) 建設事業の入札制度で、今回当市が最低制限価格を設定した理由は何か。期待される効果について伺う。</p> <p>(2) 建設事業以外で、低入札での落札が増加している傾向はないか伺う。</p> <p>(3) 最低制限価格制度を建設事業以外の入札に適用していく考えはないか伺う。</p> <p>(4) 総合評価方式を組み合わせ、入札制度に適用していく考えはないか伺う。</p>				
2	<p><b>国際交流協会の役割</b></p> <p>当市も経済・社会・文化などあらゆる分野で海外との関係が密接になっている。国際交流協会の在り方、今後の役割や期待について伺う。</p> <p>(1) 協会の目的には「広く市民の国際的な視野と感覚を高める」ことがうたわれているが、どのように思われるか伺う。</p> <p>(2) 多文化共生に対する協会の役割、協会への期待について伺う。</p> <p>(3) 商工会議所や観光協会など市関係団体、市民団体との連携について伺う。</p> <p>(4) 市民や在住外国人が気軽に立ち寄れる場の設定について伺う。</p>				

質問順序	9	議席番号	10	質問者	鈴木弘睦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<b>平成25年度施政方針</b>  新東名・現東名高速道路 地域資源の活用方法 (1) 新東名・現東名を利活用した具体的な袋井市北部の産業振興計画・内陸フロンティアは、どのようになっていますか。 ア 昨年度の実績と本年度の予定 イ 現東名より北、北部地域の構想 ウ 森町との協議状況 (2) 遠州広域行政推進会議 8市1町にまたがった広域的な整備が必要だと考えますが、各市町間との計画はどのようになっていますか。 ア 会議の目的と取り組み事項 イ 復興支援の本年度の取り組み ウ 津波対策の取り組み				
<b>2</b>	<b>袋井北部地域の幹線道路整備の現状と課題</b>  (1) 東名袋井ICと森掛川IC、東名袋井ICと遠州森PAを結ぶアクセス道路の計画は、どのようになっていますか。(インター通り期成同盟会の計画) ア 中川橋から南の新設区間の計画 イ 深山橋より東の県道磐田山梨線の計画 (2) 都市計画道路山梨中央通り線の整備計画は、どのようになっていますか。 ア 県道掛川山梨線との整合性 イ JA山梨支店北交差点の改良について (3) 都市計画道路山梨中央通り線整備後の県道掛川山梨線沿線の整備計画は、どのようになっていますか。 ア 地区計画の策定計画 イ 商業者への対策				
<b>3</b>	<b>通学路の危険箇所の整備</b>  (1) 本年度の通学路の安全対策は、どのようになっていますか。 ア 進める順番及び決定方法 (2) 本年度計画と今後の予定はどのようになっていますか。 ア 市道春岡14号線の本年度の整備計画 イ 下山梨西ノ街道の整備計画				

質問順序	10	議席番号	7	質問者	山田貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<b>観光振興の活性化</b>  市内の魅力を再発見し、観光資源として有効活用をすることで、観光客を増やし、経済波及効果が期待できます。 (1) 24年度ふくろい観光ルネッサンス事業は、どうなりましたか。 (2) 遠州三山の魅力を市内外に広く情報発信していく方法はなにか。 (3) これまでに2回、遠州三山に無料のシャトルバスを計画したが、その結果は。 (4) ほっとな町並み景観創出事業として、遠州三山の門前活性化に向けワークショップを実施したが、見かけは何も変わっていないが、成果は出ているのか。 (5) 25年度ふくろい観光ルネッサンス事業の内容はどのようなものか。				
<b>2</b>	<b>健康づくり政策</b>  「人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市」の実現に向け、全国的に大流行している風しんの対策が至急必要に思うがいかがか。 (1) 県内患者数は、今年の5倍。当市ではどうか。 (2) 出生率県下で2位の当市において、風しん対策として予防接種を受けていない年代に接種の助成ができないか。				
<b>3</b>	<b>中学校教育振興会</b>  義務教育である中学校に対して地元が面倒をみるのが通常となっているが、振興会の考え方を変えてはどうか。 (1) 市内4校ある中学校で旧浅羽を除く3校が行っている振興会について、市はどのように考えているのか。 (2) 吹奏楽部で使用する楽器等は、市としては購入できないので振興会費で購入し、市へ寄附している件について、市は、どう考えているのか。				
<b>4</b>	<b>教育支援事業について</b>  袋井市独自の教育方針としての「レインボープラン」各小学校の取組方法を問う。 (1) 「フーちゃん先生」や「学校健康安全支援員」の効果は出ているか。 (2) いじめや不登校児童数に変化が出ましたか。				